

## 監修にあたって

～水防災・減災技術に対する新たな取り組み～

水防工法に関しては、これまで先人達が様々な技術を生み出し、継承してきました。しかし、近年我が国では、生活環境の大きな変化や地域社会の移り変わりから、これらの伝統的な技術が十分に伝承・継承がされていないことが大きな課題となっています。

このような状況を鑑み、これまで多数の指導書や教本が刊行されていますが、現在の状況に必ずしも、対応した工法になっているとは言えない状況にあります。これは時代の変化とともに、水防工法を実践する組織体制の問題や防災意識の変化、さらには新たな水防資材等の開発が進んだこと等があげられます。

しかし、従来の工法として、土のうは水防の基本であり、ロープワークは工法の基本であるため、水防技術の基礎として必ず習得し、理解する必要があります。

よって、本書では、伝承されてきた基本となる技術をしっかり習得し、その上でより迅速に、安全に水防災・減災に対応できるよう、時代に即した考えを考慮しつつ改善・改良を加えました。さらに、緊急時には現場責任者が容易に判断できる応急型工法も含めて、体系的に整理し、まとめたもので、水防団員等の実務者のみならず若手技術者を含めた指導者の育成用教本として作成したものであります。

平成29年3月

●監修

全国水防専門家・四国防災エキスパート 山本 邦一

